

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	ウエスタン・ワシントン大学	氏名	
国名	アメリカ合衆国	学籍番号	
留学期間	2023年 9月 ~ 2024年 6月	記入年月日	2024年 7月 11日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Sociology			
科目名	Gender and Society	科目名	Introduction to Women Gender and Sexuality Studies
授業内容	ジェンダーに関する社会問題を社会学の観点から考察する授業	授業内容	フェミニズムの歴史やジェンダー研究の入門授業
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	5	単位数	5
サイズ	200人程度	サイズ	20人程度
難易度 Course No.	SOC 268	難易度 Course No.	WGSS 211
宿題の量	毎授業につきリーディングが20ページ程度	宿題の量	毎週2-10ページ程度のリーディングとそれに対するリフレクション
コメント	講義型の授業だが、積極的に学生が意見できる授業だった。リーディングの量がやや多いと感じたが、授業で丁寧に解説される。評価は3回のオンラインテストとエクストラクレジット2回の合計でつけられる。オンラインテストは少し難しかった。	コメント	教授がとても親身になってくれる方だった。授業中はディスカッションが多くグループプレゼンテーションもあった。プレゼンテーションのテーマを自分たちで決定できたり、学内外で行われている授業に関連した興味のあるイベントに参加することが推奨されたりと自由度の高い授業だった。
科目名	Newswriting	科目名	Introduction to Global Studies
授業内容	アメリカの新聞記事の書き方(フォーマット)について学ぶ授業	授業内容	世界中で起きている環境問題や社会問題について学ぶ授業
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	4	単位数	5
サイズ	15人程度	サイズ	30人程度
難易度 Course No.	JOUR 201	難易度 Course No.	INTL 201
宿題の量	後半に記事を実際を書く課題が4,5回程度	宿題の量	リーディングに対するリフレクション(毎週)
コメント	1年間を通じて最もやりがいがあった授業。新聞記事の書き方を学ぶ授業ではあるが、正しい英文法についてもカバーされたためネイティブにとってはやや難易度が高かったが、その分学びも多かった。実際に人にインタビューをし記事を執筆する課題は大変だったがとてもいい経験になった。	コメント	教授がアフリカに留学していたということもありアフリカを中心に世界中で起きている問題について扱っていた。ディスカッションベースの授業だったため、他の学生が特定の問題についてどのように考えているのかや私の意見を聞いた時のリアクションが興味深かった。

科目名	.Race and Ethnicity	科目名	Teaching-Learning Process in Elementary Japanese
授業内容	人種やエスニシティについて学ぶ授業	授業内容	決まった時間に決まった教室に赴き、やってきた日本語学習者の質問に答える。その代わりに単位をもらう授業
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	5	単位数	2
サイズ	200人程度	サイズ	数人
難易度 Course No.	SOC 269	難易度 Course No.	JAPN 425
宿題の量	必須の課題はほとんどないが量の少ないオプションな課題がほぼ毎授業	宿題の量	学期末にレポート
コメント	ありとあらゆる人種に関わるものをカバーする授業。興味深かったのはディスカッションボード。教授の質問に対して学生が自由に回答できる掲示板のようなものがあり、さまざまな意見を読むことがとても楽しかった。教授の質問は普段ならあまり話せないような内容などが多く興味深かった。	コメント	日本語学習者が教室にきてくれないと成り立たないため、日本語の授業を担当している教授にメールをして自分の存在を学生に知ってもらうようにした。日本語学習者とは、質問に対する回答だけではなく会話を積極的に行うことでリピーターになってもらうように努めた。
科目名	The Art of Listening to Music	科目名	Introduction to Cultural Anthropology
授業内容	楽器についてや音楽のジャンル、それらの歴史についてなど音楽に関わることを幅広く扱う授業	授業内容	文化人類学の入門編
授業形式	対面	授業形式	対面
単位数	3	単位数	5
サイズ	50人程度	サイズ	80人程度
難易度 Course No.	MUS 104	難易度 Course No.	ANTH 201
宿題の量	2-3週間に1回程度小テストと大きめのテスト	宿題の量	リーディングとそれに対するリフレクション(毎週)&その他
コメント	難易度はそこまで高くなく課題も少ないため全くストレスがかからなかった。純粋に楽しむことができたと思う。特に教授がバイオリニストで授業中に演奏してくれたことが印象に残っている。数回ゲストを招いてミニ演奏会が開催されるなどとても贅沢な授業だった。	コメント	人類の進化からジェンダーの話まで人類に関することを幅広くカバーした授業だった。興味深かったのはアイデンティティをテーマにした回。さまざまな学生がそれぞれ異なる人種的アイデンティティを持っていて面白かった。
科目名	Education, Culture, and Equity	科目名	
授業内容	アメリカの教育を文化と公平という視点から考える授業	授業内容	
授業形式	対面	授業形式	
単位数	5	単位数	
サイズ	20人程度	サイズ	
難易度 Course No.	SPED 310	難易度 Course No.	
宿題の量	不定期なリーディング課題	宿題の量	
コメント	教授が"Let me give you an A"と言うほど意欲的な方だったため質問がしやすくとても快適なクラスだった。ディスカッションも多くワシントン州で育った学生に質問ができる機会がたくさんあった。文化の違いを感じることも楽しかった。	コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>成績のつけ方や課題の内容がわからないことが多かった。その際はすぐに教授のオフィスアワーに行くかメールをすることで解決していた。また、持ち込み不可のテストが実施されることを知った際には、ダメ元で教授に相談したことで留学生であることを考慮していただけた。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>写真部やクリスチャンのコミュニティ、JSA(Japanese Student Association)に参加することがあった。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>Birnam Woodというキャンパスから徒歩20分ほどのところにある寮。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>1部屋につき2人×2部屋の計4人でバスルーム、キッチンシェア。ゴミ箱は1人1つでキッチンにもある。リビングには大きめのソファと小さめのソファが1つ、低いテーブルが1つ、ダイニングにテーブルが1つある。各部屋には収納ボックスが1つ、机とベッドが2つある。キッチンにはガスコンロと冷蔵庫がある。その他の家電(電子レンジなど)は借りることもできる。洗濯機はCommunity Buildingというところにある。</p> <p>部屋について</p> <p style="text-align: center;">2(4) 人部屋 広さ 10 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>秋学期と冬学期は自分を含めて4人いたが、冬楽器の途中に1人が退学し、さらにドイツから来たルームメイトが国に帰ったため春学期はそれぞれの部屋に1人ずつの2人だった。互いに不満に思うことはあったものの、ルームメイト同士での大きなトラブルは特になかった。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>マットレスは備え付けだが、シーツや掛け布団、枕、枕カバーは自分で揃える必要があった。アメリカに到着した日の次の日に近くのスーパーで揃えた。その他の生活用品も同様。バスで行くと少し遠いが、アクセスできる範囲内にダイソーがあったためそこに行くこともあった。</p> <p>生活の感想</p> <p>東京の便利な生活に慣れていると交通網の観点で物足りなさを感じるかもしれないが、慣れれば問題ないと思う。もちろん車があれば、ないしは車を持っている友達がいれば容易にさまざまな場所に行くことができるが、ないからといってどこにも行けないわけではない。バスでだいたい場所には行ける。ベリンハムの気候に関しては、9月から3月くらいまでは雨や曇りが多い。4月以降になるとようやく晴れの日が増え始める。また、キャンパス周辺にはとても緑が多くハイキングをする人が多くいた。湾も近くにあるため放課後に海岸に行くこともあった。非日常的だったと思う。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>基本的には自炊。日本食はシアトルのuwajimaya、アマゾンを利用して入手したり、近くのスーパーで買っていた。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIG損保	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	大学独自のものがあつたが加入しなかつた	
6	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	なし	
7	費用について教えてください(実際にかかつた費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	270,000 円
	帰国旅費	円
	引越し(往復で)	円
	保険	210,000 円
	語学研修費	円
	留学先学費	6,265 939,750 円
	本学学費	200,000 円
	教材費	2,068 310,200 円
	住居費	円
	食費	円
	その他(旅行(3回))	300,000 円
	()	円
	()	円
合計	2,229,950 円	
換算率 (1ドル = 150 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
業務スーパー、パイオニアスカラップ		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	<ul style="list-style-type: none"> ・現地に着いた日から3日程度生き延びるための衣服やアメニティー ・自炊をするなら日本の調味料やスペースがあれば調理器具もあると良い ・スリッパを複数(部屋用、バスルーム用、旅行用(折り畳めるものだと良い)など) ・複数の洗濯バサミがついたハンガー 	
留学前にしておけばよかつたこと		
英語の勉強はいくらしてもやりすぎることはないと思う。		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>最初の2,3ヶ月は学習面でも生活面でも慣れないことが多かった。学習面では、自由度の高い課題が多かったため戸惑うことがあった。生活面では、天気に対応するのに苦労した。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>英語力がついたのはもちろん、全体的にタフになったと思う。例えば、1学期につき1回程度気持ちが激しく落ち込むことがあったり授業にうまくついていけなかったりなど壁にぶつかることが通常よりも多かったが、たくさんそのような経験をしたことで辛い状況下でどのように感情や物事を処理したら良いのか自分なりに理解することができたと思う。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>卒業を1年延ばして就職活動を行う予定。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>行きたいと思っただけでその気持ちを大切にできるだけ実現に向けて努力してほしいです。もちろん、留学をするにはお金や時間も必要なため、単に意欲だけの問題ではないと思いますが、とりあえずできることは試してほしいです。例えば、お金でいうと、奨学金を給付している団体はいくつもあります。合格するかどうかはわからないため賭けに近いかもしれませんが、お金を理由に諦めるのはもったいないと思います。時間でいえば、1年卒業を遅らせることは、長い目で見ればそこまで大したことではないです。留学というきちんとした理由があれば就職活動にも悪影響を及ぼすことはないはず。なによりも留学をして得られる経験はお釣りがくるほどの価値があると思います。オンライン留学など新たな形態の留学もありますが、現地に留学することでしか得られないメリットがあります。それは外国人になることです。特に私の留学した地域は白人が多く大学の外には日本人はおろかアジア人すらあまりいない環境だったため、外国人、アジア人、日本人としてみられることが多くありました。日本人としてずっと日本にいると外国人になることは難しいためぜひその体験をしてほしいです。きっと新たな視点が獲得できると思います。もし不安に思うことや留学全体を通して質問があればいつでも連絡してください。教職もとっているのでもそれに関連した質問にもお答えできるかと思います。(国際センターの方にお声かけいただければ大丈夫かと思います)</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p>

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※写真の掲載を許可する場合は、写真に写っている全員の許可をとってください。

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコンで入力してください。

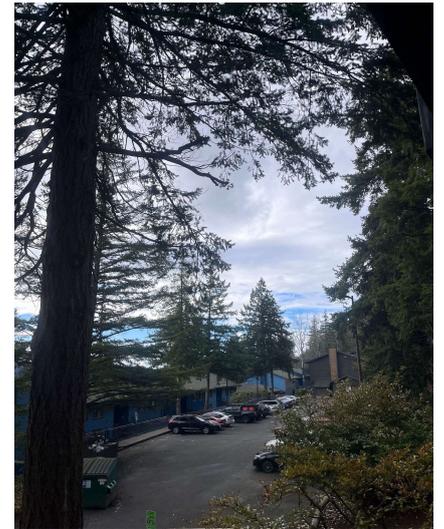
※ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



↑ 図書館にあるベーグル屋



← Thanksgiving(友人宅にて)



↑ 寮のバルコニーからの景色



← キャンパスの近くにある公園にて



↑ 図書館からの景色



← オーロラ

キャンパスの桜並木→

